

長 都 第 405 号
平成20年10月 8 日

国土交通省道路局長 殿

長沼町長 戸 川 雅 光



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃より当町の道路行政の推進に対するご指導、ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

つきましては、平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼のあった標記の件について、別紙のとおり提出しますので宜しくお願い致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 長沼町

北海道は、私鉄の乗り入れ等がなく他府県に比し鉄道網が脆弱であり、広大なエリアを網羅する交通手段は道路によらなければならないこと
は言うまでもありません。

北海道の道路整備は遅れており、これからも整備を進めていかななくてはなりません。しかし、道路整備にかかる補助事業の採択条件が厳しく
なり、新規路線の整備が難しい状況です。よって、北海道の特殊事情を勘案し、採択条件の緩和を願います。

北海道経済の中心となる道央圏の連携強化を推進するとともに、空港・港湾等交通拠点へのアクセス強化を図る道央圏連絡道路の早期完
成をお願いします。

冬期間の道路除雪は、短時間での雪処理や排雪に対する住民のニーズも年々高まりをみせ、冬期の経済・生活を支える除排雪費用は町財
政を圧迫しています。よって、冬期間の除排雪を補助制度化されるよう要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道 長沼町

○現状

長沼町の除雪は、積雪量が10cm以上になった場合に出動する事になっており年間20日間以上は、除雪を実施しております。その他に道路幅が狭くなるため排雪作業も行っています。

長沼町の橋梁は全部で239橋あり、建設後30年以上の橋梁が68橋あります。橋梁が老朽化しているため、損傷がみられます。

○課題

除雪にかかる経費が年間1億円を超え、町財政を圧迫しています。

架け替えや補修しなければならない橋梁が増え、将来的に大きな負担が生じる事が懸念されます。

現在、掛け替えが必要である橋梁もありますが、補助事業の採択条件に満たない交通量であることから改築できない状態です。町財政も圧迫しているため、町としても苦慮しているところです。

②-2 地域の目指すべき将来像

○快適な暮らしを支える生活道路の整備促進

- ・住民生活を便利で快適にするため、町道の改良、舗装、橋梁等の整備を促進
- ・冬期間でも快適な道路環境の形成・維持
- ・交通弱者の安全への配慮
- ・田園文化都市にふさわしい街路景観の形成

○地域発展に貢献し快適で利便性の高い道路ネットワークの形成

- ・交通量の増大や輸送車両の大型化に対応した安全性・利便性の確保
- ・交通混雑の解消
- ・地域の中核である札幌市、及び新千歳空港等の交通拠点へのアクセスの改善による物流の効率化

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

北海道 長沼町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	冬期間除排雪の補助制度化 道路橋梁の老朽対策	除排雪における町の負担が軽減されることで、地域住民のニーズに対応した除排雪が可能となり、冬期間でも安全で快適な道路環境を提供できる他、交通事故の減少も見込める。 補助事業により、橋梁の架け替え及び補修が可能であれば、今後急激に伸びると予想される事業費を平準化することができ、安全で快適な生活道路を早期に提供できる。	
・地域活力の向上	広域道路のネットワークの整備 (道央圏連絡道路の早期完成) 幹線道路の渋滞対策(国道274号の4車線化)	当町の主産業は農業であり、食糧生産基地として特に生鮮野菜を大消費地(札幌市・新千歳空港)に短時間で輸送し、消費者に届けることができる。 町内の交通混雑の緩和が期待できる。	